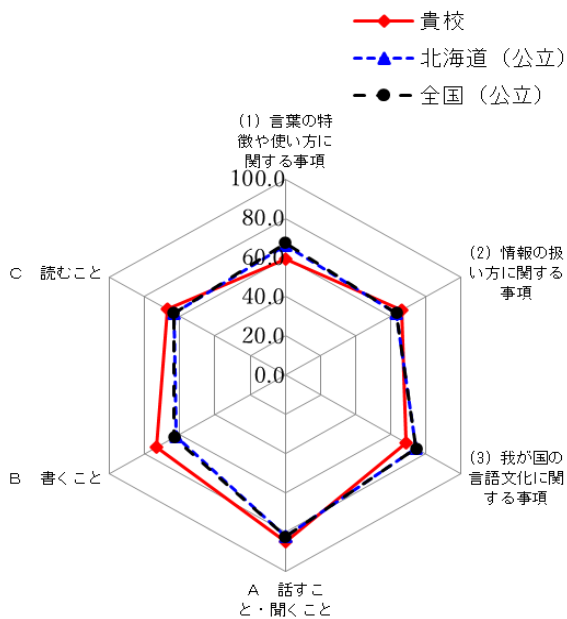


全国学力学習状況調査の結果について

本年4月に3年生で実施した「全国学力学習状況調査」の結果がまとまりました。すでに、個人の結果につきましては、生徒を通じてご家庭にお配りしています。本校では、調査結果を踏まえて、今後も生徒の学力向上に向けた教育計画や授業改善に取り組みます。各家庭においても、家庭学習の一層の充実や生活リズムの安定に向け、ご指導いただきますよう、お願いします。

国語：全国の平均正答率と比較して「やや上回っている」結果でした。



【全国比で正答率の高い問題】

- 設問1-2 インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する
- 設問3-1 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する
- 設問4-3 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く

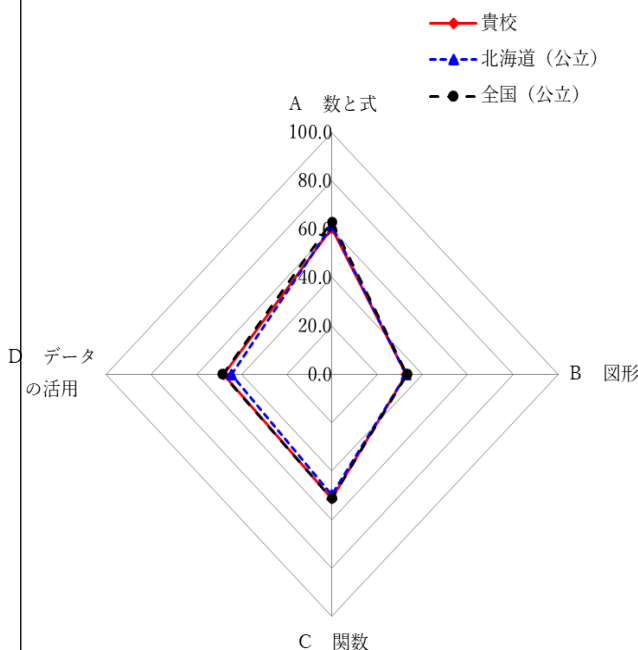
【全国比で正答率の低い問題】

- 設問2-1 「落胆する」の意味として適切なものを選択する
- 設問4-1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (いひける)

【改善の方向】

- 日常の中での言語体験 (読書や作文など) を今以上に重ねる
- 古文・漢文の知識理解を高めるために、繰り返しの学習する
- 歴史的仮名遣いの使い方を定着させるために、練習問題を中心に取組ませる

数学：全国の平均正答率と比較して「ほぼ同程度」の結果でした。



【全国比で正答率の高い問題】

- 設問1 -5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ
- 設問7-1 1961年～1975年の四分位範囲を求める
- 設問8-2 二人の選手のグラフが直線で表されていること的前提となっている事柄を選ぶ
- 設問8-3 グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する

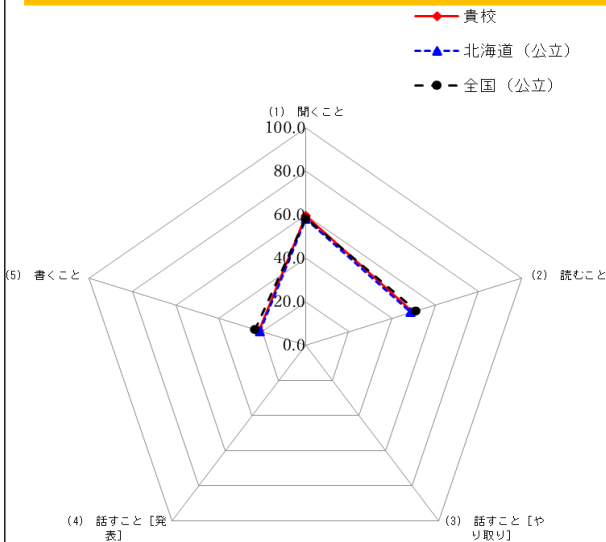
【全国比で正答率の低い問題】

- 設問4 y が x に反比例し、比例定数が3のとき、 x の値とそれに対応する y の値について、正しい記述を選ぶ
- 設問6-2 はじめの数に掛ける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する

【改善の方向】

- 授業中に計算練習を行うとともに、家庭学習による学習内容の定着を図る
- 反比例の比例定数と、 x 、 y の値の関係の理解が不十分な生徒が多いので、反比例の概念を理解させるような振り返りを行う
- グループ活動を通して対話的活動を行うなど説明する力を養う

英語：全国の平均正答率と比較して「ほぼ同程度」の結果でした。



*「話すこと」の結果は別日に実施され、グラフ上に表記はありませんが、全国の平均正答率と比較して「ほぼ同程度」の結果でした。

【全国比で正答率の高い問題】

設問1-3 買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する

【全国比で正答率の低い問題】

設問6-2 友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして、最も適切なものを選択する

設問9-2 メールの英文を依頼する表現に書き換える

【改善の方向】

- 読む活動において、複数の条件から1つのことを選択する活動を増やし、英単語を英語で説明する活動を取り入れる
- 既習の単語や連語を主語や時制によって書き換えたり、補って会話文を完成させたりする活動を増やし、読む・話す活動では、一文で完結させず、会話や物語の流れを意識させて英文を考えさせる

生徒質問紙調査：

「している」「どちらかといえばしている」の割合が全国と比較して高い項目

設問 8 人が困っているときは、進んで助けていますか	新冠中95.3%	全国88.1%
設問 9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	新冠中100%	全国95.5%
設問11 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	新冠中95.3%	全国94.6%
設問15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	新冠中95.3%	全国86.8%
設問29 今住んでいる地域の行事に参加していますか	新冠中58.2%	全国38.0%
設問30 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	新冠中76.8%	全国64.9%

生徒質問紙調査：

「している」「どちらかといえばしている」の割合が全国と比較して低い項目

設問17 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日） 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）	新冠中46.5%	全国65.8%
設問18 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、 1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）	新冠中25.7%	全国40.0%

【傾向】

- 規範意識に関することや地域への行事参加・地域貢献ことに関しては、全国より高く、仲間との協調性意識をもち、自分自身が主体的となって、様々な活動に取り組んでいることがわかりました。
- 家庭学習については、取り組んでいる時間が、平日・休日ともに全国より少なく、課題が見られました。

【中学校の学力向上等に関するおもな取組み】

- ☆ 生徒の学ぶ意欲を高めるための組織的な校内研修の推進
- ☆ 学習支援員や複数教員による、学習の個別化と指導の個別化を意識した指導の推進
- ☆ 家庭学習の質を高めるために、生徒が学習計画表を作成して実行することを推進
- ☆ デジタル教材「学びポケット」を活用した補充的な学習活動の確立
- ☆ 放課後や長期休業を活用した補充学習